

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
第4次伊賀市男女共同参画基本計画策定に関するご意見

資料3

受付日	内 容
8月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・男性リーダーの育成がわかりにくい。 ・子育て・介護支援の充実とあるが、働くお母さんたちの為の充実が少ない気がする。ここは、家庭生活両立支援とも考えてほしい。 ・住んでいて、女性の再チャレンジ支援を感じにくい。 ・大人になってからは考えが変わることは少ないので、小人の頃からの教育も重要。しかし、その教育者が知識不足であると意味がないので、学校の先生や教える立場の者に、知識を身につけてほしい。
8月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・養成講座第2期修了生です。その後、女性リーダーを目指して機会があれば参加してきました。力がないと思いながら、役員も引き受けました。職場や家庭において、男女差はいっぱいあふれています。でも、皆様のご尽力により、徐々にではありますが、変わりつつあります。 ・資料が多く、大変です。 ・一人が変われば社会が変わるとの意識をもって、応援したいと思います。 <p>いつもお世話になりありがとうございます。 不十分ですが、いただいたプリントは全部目を通しました。 特に気になったところの感想だけ書かせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識調査を見て思ったことはまだまだ男女共同参画の意識が高まってこないのはなぜだろうということです。長い間の因習や習慣などが身に付いているのでしょうね。少しずつは変わってきているとは思いますが、まだまだ変わり切れていないところが多くあります。しかし、考えを変えてみると、まだ啓発の余地があるということでこれからの活動の方向性を考えていけます。活動を進めることで男女共同参画の考えを高めていきたいと思いました。 ・策定方針の中で男性リーダーの育成について書かれていました。男女ですから女性だけの研修でなく、男性の研修も大切だと思いました。また、何度かは男女合同の研修会もあればいいなあと思いました。 ・男女共同参画の活動を広く情報発信していくことが必要だと【資料2】と書かれていたことに共感しました。そのことから、賛同者、参加者を増やしていければいいなあと思いました。
8月12日	特になし
8月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に対しての意見は特にありません。まとめていただきありがとうございます。 ・社会活動・地域活動の参加に女性が消極的であることと、固定的性別役割意識があることはつながっており、男女どちらもが、意識を変える必要があると思います。私どもは女性が多い職場です。ワーク・ライフ・バランスを実現して、活躍してほしいのですが、まだまだ結婚したら仕事との両立は難しいので、家庭に入りたいと望んだり、家事の時間を確保するために、女性が仕事を減らすことがほとんどです。両立は難しいことですが、それだけではなく、男女ともにそれを望むという考え方が、根強くあることを感じています。 一個人の感想で失礼しました。

8月13日	<p>・この計画が成就するには、国民全体の意識改革が必要であると思います。計画がスタートしてから24年も経過しているのに、いまだに国民に浸透しているとは思えません。</p> <p>それはなぜか。私が思うには、高年齢層は長い年月の社会慣行にとらわれ些かな疑問も持っていないこと、中年年齢層は置かれた組織や社会環境で情報を得て、ある程度必要性を理解しているが、行動に移すとき先輩の高年齢層に配慮・忖度などをして、結果的に従来の社会慣行に従ってしまっていることです。よって、高年齢層・中年年齢層に意識改革を期待してもダメでありムダであると思います。</p> <p>そこで、若年齢層に期待をしましょう。うまく上手に指導し、彼らが20～30年後中間年齢層になって世代交代が進んだ時、国民全体の意識改革は成就すると思います。</p> <p>道のりは長いですが、頑張ってください。</p>
8月14日	<p>・社会の中での男女共同参画以前に、家庭内での男女共同参画が全く足りていないと思います。地区の自治協の会議に参加しても、出席者はほぼ男性です。女性は家事があるので、区長になったり参加するのは難しい現実があるので、結局、自治協の活動ですら男女共同参画になっていません。第4次計画では、もっとワーク・ライフ・バランスの基本施策に重点を置いてほしいです。今さら、頭の固い大人の意識を変えるのは困難なので、子どもの頃からの教育や習慣が大事かなと思う。</p> <p>産後の母親の支援を父親がしっかりできる家庭もあれば、父親の行動、言動が引きがねになって、産後うつを発症するケースもある。育児休業にしたら、結局夫のご飯の世話もしなければならず、ストレスが増える人もいます。例えば子供が3歳になるまで、保育所入所できるまで、AM9時→PM3時くらいにできる社会をつくりたいです。家庭内が整ってこそ、社会へ気持ちが向けられると思う。</p>
8月17日	<p>「第4次伊賀市男女共同参画基本計画」策定にかかわって、資料等を見させていただきました。「固定的性別役割分担意識」がここ数年で薄れてきていることがよく分かりました。その背景には、例えば私たちも参加させていただいた「こんな男がいてもいいじゃないか塾（男塾）」のような具体的な取組が、意識改革につながっているのではとも感じました。このような取組や啓発を進めていくことで、市民の意識も変わってくるのではと考えています。</p> <p>しかし、社会情勢を見たとき、「性の多様性」に対する理解は、これからも啓発を進めていく必要があるのではと考えます。男塾のような取組や、市民や学校関係者等に向けた講演・研修等を実施したり、学校教育の中で人権学習の一環として「性」に関する学習を取り入れたりすることを推進の1つとしてぜひ位置付けたいと思います。</p> <p>以上、よろしく願いいたします。</p>
	<p>男女共同参画基本計画が2006年にはじまり、14年を経た今日、どれだけ伊賀市の人々に根づいているかを考える時、アンケートの「法律等の認知度」の結果を見ると浸透率約50%ぐらいで、この数字が高いか低いかは何とも言えませんが、今後も市が取り組んでいる事を啓発していく努力が必要だと思います。そして、あと5年後のアンケートでは市民が「第4次の計画知ってるよ」「都市宣言も見なくても言えるよ」が少なくとも70～80%の回答が欲しいものです。</p> <p>では、その為にはどうしたら良いのか？伊賀市の行政にはもっと本気を出して欲しい所です。</p>

8月17日

- ①第4次計画体系図がわかりやすい内容か？
- ②事あるごとに宣伝しているか？
- ③いろんな角度からアピールしているか？
- ④それぞれの現場（行政、企業、学校、地域等）へ行って働きかけから結果までを精査できているか？
- ⑤他市の進んでいるところを学んでいるか？それを伊賀市にどう活かしているか？

これ以外にも問題はいろいろあると思いますが、もう一度立ち止まって考慮することが大切です。3次で出来てないことを足してみるだけでは、課題の上乗せが増えただけのような気がします。

まず前項①の項目ですが、第4次計画体系図（案）の地域社会の7番「社会、地域活動における男女共同参画の推進のための市民力の醸成」の中の醸成はあまり聞きなれない単語で、不勉強な私は初めて知った次第です。辞書を引くと「ある気運を作り出すこと」とあります。要するに「市民の皆さんで社会や地域に男女共同参画の推進の気運を作って盛り上げて下さい」のような事だと思っておりますが、「市民力の醸成」でどれだけの人が理解できるのか疑問です。

同じく9番の「女性のエンパワーメント」もわかりづらい。横文字は一見スマートで格好よく感じますが、正確な意味が不明な場合が多いと思います。訳すると「女性が力をつけ連帯して行動する事によって自分たちの置かれた不利な状況を変えていこうとする考え方」のようですが、例えば「女性の連帯力で現状打破をめざす」でも良いのではないのでしょうか？

ちなみに10番の男性リーダーの育成は大いに歓迎する項目です。女性リーダーの育成ばかり言われておりましたが、男性こそっと人権の学習をして欲しい所です。特に1人1人の原点である住まい、すなわち地域に於ける男女共同参画が大切で、わかったつもりでいても自治会の役職の大半は男性で、いまだに訳のわからない慣習を重んじています。

私は自治会や市議会議員、行政の役職、審議会等は男女半数づつが理想だと思います。

前項②③では、関連する資料にはイメージカットやイラストが書いてあるとか、イメージソングや体操、ダンスを作るとか「伊賀市男女共同参画都市宣言」は比較的わかりやすい語句なので、関連する行事の前には必ず皆で斉唱するとかすると、いつも身近に感じられ自然と機運も生まれると思います。

前項④は特に地域の動きを確認して欲しい所です。いずれにしても一つ一つの計画体系図の項目が達成され、わざわざ書かなくても良くなる時代が来るよう願っております。

今回締切日が迫っていて、又コロナの影響で他の会員に意見を聞く時間がなく、私一人の意見になってしまい申し訳ございません。

資料に基づいた意見ではないかも知れませんが、男女共同参画という中でまだまだそうでない部分が多く、やはり女性は男性に頼るところがあるように思い、その部分もいろいろ勉強してきたつもりですが、現状は難しいです。（意識調査に出ているように！）が、やらずにそのままにしておいては前に進みません。1人でも多くの方々が参加し一つの問題に拘らず、広い視野で問題や疑問を一緒に考えていくことが大切と考えます。

そして、誰でもわかる（理解）言葉で発信することが大事ではないかとも。

いつも大変お世話になります。

基本計画策定に関する方針、考え方に対し、特に意見はありません。

8月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・「意識調査からの課題」について これらの課題について具体的にどう取り組んでいくのかが書かれているのか。 ・「女性が様々な分野の役職につく（立候補する）ことについては、男性よりも女性自身の方が消極的である」という結果から。 子育て、家事等が家庭の中で分担されているのか？女性の方の意識の問題なのか？この原因（要因）を何だと考えるのか？（女性が参画できる状況になっているのか） ・「固定的性別役割分担意識の解消」について “まだまだ根強く残っていて、各個人の意識を変えていくことが必要”と書かれているが、そのためにどんな取組をしていくのか（市として各地域で）を、具体的に示してほしい。 ・「仕事中心社会の仕組みと意識の改革」について 市街地と昔ながらの地域とで意識の差が大きい。（調査で全体としての傾向はわかるが、地域による差はつかめない） ・「男女共同参画の意義・目的・周知」について “あらゆる場”とは、具体的に！
	<p>早速ですが、私の他愛もない意見を書かせていただきます。 第3次計画27項目から第4次計画は30項目に増えましたが、第3次計画の27項目のうち何項目が、頭初考えていた「目標」を達成できたのでしょうか？計画作成時、何らかの「目標」があると思うのですが…。可能であれば、計画作成にあたり前回の目標の達成率や各項目の主な相談件数、対応件数などの活動状況などがわかる「表」のようなものや、文言があれば、市民からすると男女共同参画の事業が「見える」ので、興味・感心など持ってもらえるのかなと思いました。すでにこのような内容の事を発表しているのであれば、誠に申し訳ありません。 大変な事業と思いますが、第4次伊賀市男女共同参画基本計画が無事決定される事を祈念しております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・新設「男性リーダーの育成」 — これは非常に良い計画と考えます。女性参画の拡大のみが一人歩きしているように感じる事が多いですが、男性の目線で真に平等とは何かを、男女ともの意見をまとめてほしい。 ・この計画を全市民に周知するには、会議だけに終わらず、参加している方だけに終わらず、「推進」「周知」「計画」「充実」「促進」と言葉だけでなく、紙面だけでなく、本当に考えてほしいです。 <p>（※今までこの計画を知る場所がなく、初めて知りました。定年退職して10年。いつ、どの年齢であれば実行参加できたかと思うのが遅すぎました。もう無理な年齢になっています。）</p>
8月18日	<p>伊賀市男女共同参画基本計画に関する資料を拝見させていただきました。資料から「男は仕事、女は家庭・育児・介護」という考え方が少しずつ変わっていることに希望を感じました。コロナウイルスの影響で、伊賀市も元気がなくなっている様に思いますが、これを機に性別による役割分担から、互いに協力するという動きになればと思います。</p> <p>ある国では男女共にフルタイムで働く家庭が多く、家事、育児は手が空いた方がするそうです。また、60代以上の夫婦が託児を仕事にしているという話も聞きました。良いと思うことをどんどん取り入れて、伊賀の活性化につながる良いと思います。</p> <p>計画全般において、ジェンダー平等やジェンダー差別など、ジェンダーに関わる課題について加えていただきたい。</p>

<p>8月18日</p>	<p>男女共同参画基本計画策定作業ご苦労様です。 さて、私が男塾を受講し、はや約半年が経過いたしました。その間に、立場が地区のリーダーとして会員を引っ張る立場となり、いかにして過疎化の地区を昔のような活気ある地区に導けるか、日々苦悩しています。当地区はご多分にもれず高齢化が進行し、ものの見方、考え方も現代的とは言い難い地区であります。いかにして、女性が男性や親の理解を得て、何の抵抗もなく、家庭から離れられるか、個々への取り組みの大事さの指導と共に、各地区での講演会開催による指導も必要と思われます。 女性は勤めが終わると帰宅して、家事をこなす。昔はあたりまえの行動であるが、これからは男性と同様に仕事を選べ、また、地区活動に活躍できる環境を造る為、前述の事柄を実行する機会を多く設けることが大事だと思ひます。</p> <p>社会情勢から、性の多様性に対する理解がすすむように考えていただき、体系図に新設されたことに対しての意見です。 私たち女性部でも、ジェンダー平等教育がすすめられるようになったなかでも、性的マイノリティで悩んでいる子がいるということを、常に念頭におきはずだと考え、子どもたちが安心、安全ななかで学習できる環境をつくるために、研修をすすめていこうと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4次計画の10「男性リーダーの育成」は今まで女性の立場だけだった様に思えるので、良いと思ひます。 ・休業、休暇一環境整備で「育児短時間勤務」を取られている市職員さん（女性）と仕事と一緒にでしたが、勤務の時間について言われなかったので、当然いる時間だと思ったが、帰られていて土日休みになり、3日連絡が取れませんでした。取る人の意識や取らせる人の意識の問題。 ・仕事中心社会・・・改革 仕事中心という社会全体の仕組みや意識の改革？ 仕事時間中の効率、仕事に集中する精神力、それによる仕事の時短
<p>8月19日</p>	<p>猛暑お見舞い申し上げます。 これらの事業に携わって頂いている方々には、大変お疲れ様です。私も後期高齢者となりましたが、男女共同、男女平等はとても大切なことと感じております。「私達」の時代、男尊女卑が当たり前、そういうものと思ひ育ってきましたが、息子達の時代になり、男性が育児・料理のできる男性がもてていますよね？ 今、十代のアスリート達が頑張って世界に羽ばたき、肩を並べて活躍しています。ものすごく楽しみだし未来は明るいと感じています。一つ付け加えれば、もう少し政治に興味を持ってほしいかな。 川の流れ、時の流れに身をまかせすしかないのかなと私は思っています。今まで本当にお世話になりました。有難うご座居ました。皆様のご活躍をお祈り申し上げます。お体ご自愛の程。</p>
<p>8月20日</p>	<p>コロナ感染防止のため、交流会が開催されないのは残念です。 第4次基本計画が、昨年実施された市民意識調査が反映されるとのことで、市民の意識の変化と今後の取組みに期待します。 案の中でSDGSを加味するならば、「社会情勢から」の項目に性の多様化に対する理解とあるが、「ジェンダーの平等」とか具体的に入れたらどうか。 ワーク・ライフ・バランスの中で、企業の中での男女共同参画の推進について、働き方改革やセミナー講習など、意識向上や推進のための項目を入れたらどうか。 アンケート結果が市民に広く周知でき、今後の意識改革に期待します。</p>